

意見公募によって提出いただいた意見及び反映結果

施策案の名称	とりで未来創造プラン2024	
意見募集期間	令和5年11月1日 から 令和5年11月30日まで	
意見提出者数	5人	
提出意見数	5件	
意見項目数	13件	
意見提出の内訳	直接窓口へ持参	人 件
	郵送	人 件
	ファクス	人 件
	電子メール	5人 5件
意見の反映結果	A 案に反映させたもの(反映・修正箇所がわかるものを添付)	件
	B 意見の趣旨が既に案に盛り込まれているもの	4件
	C 今後の取り組みにおいて参考にするもの	7件
	D 案に反映できないもの	件
	E その他(感想・賛否のみなど)	2件
匿名等による意見提出者数	人	

※意見公募は政策等の賛否を問うものではありません。有用な意見を政策等に反映させるため、意見の内容に着目し、これを考慮した市(実施機関)の考え方を掲載しています

※類似の意見に対しては、まとめて市(実施機関)の考え方を掲載したものがある場合は、意見項目数と一致しません

※詳細は別紙のとおり

提出された意見と市の考え方

番号	該当ページ	意見	市（実施機関）の考え方	反映区分
1	—	<p>歳入見通しと扶助費の伸びから見て、やむを得ないとは思いますが、「未来創造」を掲げているわりには、既存施策を再編した無難なところに落ち着いているように感じます。</p> <p>人口減少が予想される地方都市こそ、特に大胆に先端技術や先進的の制度を導入し、将来的な財政負担の軽減・人的資源の不足への準備が必要ではないかと考えます。</p> <p>例えば常総市では本田技研と「AIまちづくり技術実証実験協定」を結び、道の駅でのマイクロモビリティの実験などを行い、高齢者が自由に移動・買い物ができる「未来」を垣間見させる取り組みを行っています。</p> <p>今後計画を具体化していく中で、そのようなワクワクさせてくれる事業が展開されることを期待します。</p>	<p>ご指摘いただきましたとおり、少子高齢化に伴う人口減少、それに起因する財政的な負担の増加等は市の将来を考えた際に大きな課題であると認識しております。</p> <p>本プランにおいても「行政改革推進事業」を重点的に行っていく事業として設定し、行政運営の効率化や簡素化を図りながら、持続可能な自治体を目指すこととしています。</p> <p>また新たな取組としては、脱炭素や循環型社会を目指すこと、デジタル化の推進による事務の効率化や市民サービスの向上を目指すこと等を今までになかった要素として追加し、昨今の社会情勢や人々のライフスタイルの変化に対応した事業展開を目指していくこととしております。</p> <p>ご紹介いただいたような事例も参考としつつ、具体的な取組については各課の個別計画や毎年度の組織マネジメント等で検討してまいります。</p>	C
2	—	<p>市の定時放送による騒音問題</p> <p>2023年11月現在、取手市では『平日14:30』下校時の児童みまもりを奨励する放送を強制で流していますが、『工場勤務で夜間に働く市民が多い地域（日中は睡眠時間です）』『ご年配の方、障害者施設も多い』にはそぐわない、告知内容すら分からないだけの騒音となっており、こちらは西側の開発に合わせて随時停止すべきかと思えます。</p> <p>また「いきなり止めづらい」とい</p>	<p>本計画は、市の最上位計画であり、行政運営を行っていく上での基本的な指針となる計画であることから、政策の大きな方向性を定める内容となっております。</p> <p>防災無線による下校時の見守りのお願いにつきましては、個別の事業の運用方法となります。内容については担当課と共有させていただきます。</p>	E

		うのであれば、騒音となっていないか、市民からの声を集めたうえでの対処、という流れが自然だと思われます。		
3	—	<p>取手市を荒らしに来る珍走団の対策</p> <p>ごくたまに、時間帯としては21時を過ぎる辺りで『珍走団（警察の呼称「暴走族」とされていたもの）』が、遠くから来る（近隣の輩であれば頻度がもっと高くなるはずです）ため、公的なエリアに関しては、対策『侵入防止のバー』『防犯カメラ』『公地違反者（スプレー落書き等）に対する厳密な罰金』など、今後、そのような輩は北側イオンの開発が進めば必ず寄り付くと思われるので、事が起きる前に考慮しておく必要があるかと思ひます。</p>	<p>本計画は、市の最上位計画であり、行政運営を行っていく上での基本的な指針となる計画であることから、政策の大きな方向性を定める内容となっております。</p> <p>ご意見としていただきました、いわゆる暴走族対策につきましては、茨城県において「茨城県暴走族等による暴走行為の防止に関する条例」が定められております。また、市のみならず警察や、個別の対象地においては事業者等との調整の上対応することとなります。いずれにいたしましても、個別の事象に関するご意見につきましては、内容を担当課と共有させていただきます。</p>	E
4	P25	<p>政策6 将来にわたり発展する地域社会の構築→将来にわたり豊かになる地域社会の構築</p> <p>→の後に変更する。課題を追加すると良いと思ひます。</p>	<p>ご指摘頂きました政策名の「将来にわたり発展する地域社会の構築」の「発展する」を「豊かになる」に変更した方が良いのでは、という意見につきまして、一般的にはどちらも物事が進み、広がっていく様子や、より進んだ段階へと移っていく様子を表す表現かと思ひます。</p> <p>「豊かになる」という表現には、ニュアンスとして「満ち足りていく」というイメージがあるかと思ひます。本政策の中には、満たされていく過程において、これまでの総合計画では重点施策に位置付けていなかった「デジタル化の推進」という要素を新たに追加し、デジタルトランスフォーメーションの推進等により、地域社会を新たなフェーズへと進め、持続可能性を高</p>	B

			<p>めていきたいとの想いをより強く打ち出すため、「発展する」という表現を使わせて頂きました。</p> <p>「豊かになる」という表現に含まれる、ウェルビーイングや精神的な満足感、充足感を高める取り組みも進めながら、新たなステージへと進めて行くために「発展する」という表現を使わせて頂きます。</p>	
5	P38	<p>課題の最後 移動手段の<u>検討を進める必要</u>があります→<u>移動手段の実現の必要</u>があります</p> <p>→の後に変更する。課題を追加すると良いと思います。</p>	<p>公共交通は地域内の住民の移動手段として、また地域の経済を支える基盤として重要な存在であると考えます。その他にも交通事故防止や地球温暖化対策、健康維持等、様々な面で有効に作用する交通手段であると捉えております。</p> <p>他方で、物流業界における働き方改革関連法に伴う諸課題、いわゆる「2024年問題」を始め、燃料費の高騰や、人口減少に伴う利用者の減少、新たな技術革新など、様々な要因によって、交通政策に対して行政が取るべき施策は年々変化していくものと捉えております。そうした状況の変化を適切に把握、分析し、その時々で必要な施策を実行するための検討を進めてまいります。</p>	C
6	P42	<p>課題1行目 魅力創出につながる情報発信のため、の後に<u>市民と協働による。</u>を入れる</p>	<p>当該表記については、情報へのアクセス手段が多様化する現代において、行政として適切な発信ツールの選択、発信回数、クオリティなどが求められていることを表現しております。</p> <p>ご意見としてございました、多様な主体を巻き込んだの情報発信については、同施策の重点事業として「市民協働による魅力発信事業」を掲げており、シティブロモーションサイトで行ってい</p>	B

			る投稿型による市民からの魅力発信等も含め、本計画においても重点的に取り組んでまいりたいと考えております。	
7	P58	課題に子どもや若者の集う場所作りが必要も入れて欲しい	こどもの居場所づくりについては重点施策3「子育てしやすいまちづくり」において、重点事業として子育て支援センター事業や放課後子どもクラブ運営事業を掲げております。また若者の集う場所については、本計画策定の過程において、市内高校生とのワークショップを開催しており、その中でも駅前や新市街地の開発に対する期待の声が多く聞かれました。こうした意見も踏まえ、重点施策1「訪れたい・住み続けたい都市空間の創出」により、若者が求める地域の魅力や活力を高めつつ、今後も若者の声に耳を傾けながらの行政運営を進めてまいります。	C
8	P61	市政協力員に対し、→市政協力員の役割を明確化し	市政協力員は、「取手市市政協力員設置に関する規則」において、その設置の目的や役割が定められているほか、より具体的な行動指針は市政協力員ガイドブックにおいてお示しし、年度当初の市政協力員会議において説明しております。 市政協力員に求められる役割については、時代の潮流や地域特性等を考慮しつつ、今後も担当課において市政協力員との連携を密に取りながら協議してまいります。	C
9	P65	重点施策の展開方針に市民と共に避難訓練を実施する。を入れて欲しい	本計画は、市の最上位計画であり、行政運営を行っていく上での基本的な指針となる計画であることから、政策の大きな方向性を定める内容となっております。 ご意見を頂いた「市民と共に避難	B

			<p>訓練を実施する」につきましては、取手市一斉行動（シェイクアウト）訓練を実施している他、各地区での防災訓練等を支援することで地域の防災力の向上を図っております。</p> <p>これらは本計画における重点事業の「地域防災力の強化事業」に基づくものであり、今後も自主防災組織や防災士を巻き込んだ事業を展開し、地域防災力の強化を図ってまいります。</p>	
10	—	<p>全体をざっと読んで思ったのは、取手の明るい未来を感じさせるものはないな、ということ。</p> <p>財政力指数が、近隣の自治体に比べて圧倒的に劣位にあるのに、これに対する対策が何も見えてこない。目標人口を9万人にするとか、縮小均衡に向かってどうするんだ、という印象。人口をもっと増やして発展させるという発想はないのか？</p> <p>一昨年、45年振りに取手の将来に期待して実家に戻ってきたのにこれからが思いやられる。</p> <p>基本構想、重点施策には、穏やかで、とかぬくもりのある、とか文学的表現が並ぶが具体性に欠ける。住み続けたくなる都市空間の創出と言っているが、そのために何をするのか？</p> <p>要は、グラウンドデザインがないのでは？プランの現状認識にあるように、40年代の高度成長期の人口増加での発展に胡坐をかき、その後何もしてこなかったことで過去の負の遺産が重くのしかかっている状況ではないか？それをどう解消し未来へ向かうのか？</p> <p>それを聞きたいと思う。</p> <p>隣の守谷市は利便性を売り物にして人気も高く好循環が続いている。つくばみらい市は交通の優位</p>	<p>人口推計につきましては、コーホート（同年同期間に出生した集団）変化法を用いコーホートごとに出生、死亡、移動による変化率を求め、将来人口を推計する方法で算出しております。</p> <p>ご意見にございます通り、取手市は昭和40年代から50年代にかけて東京都心のベットタウンとして開発が進み、急激に人口が増加し、近隣市町村よりも早く発展した分、高齢化も先んじて到来しております。年齢構成のアンバランスを解消するため、若者の移住定住にも力を入れており、近年では人口動態における社会動態（転入数と転出数の差）については転入増の傾向が続き^{*1}、一定の効果を上げているものと考えます。</p> <p>一方で、自然動態（出生数と死亡者数の差）においては、マイナスが大きく、トータルで見ると緩やかに人口が減少しているところです。</p> <p>こうした傾向を正しく分析し、理解した上で、将来持続可能な自治体となるべく、進むべき方向性を示すための計画であるとしてご理解いただければ幸いです。</p> <p>具体的な取組については、今後この総合計画をベースとし</p>	C

		<p>性を活かして物流倉庫やら工場誘致で発展している。取手にもキヤノン、日清食品の工場は立地しているし、こういう企業とのコラボは考えられないのか？</p> <p>取手は具体的にどういう街を目指すのか？何を売り物にしていくのか？近隣の自治体に負けないポテンシャルを持っているのに活かし切れていないと思う。</p> <p>脱炭素、循環型社会、SDGsにも言及しているが中身がない。SDGsを言うのであれば、ムーンショットからのバックキャストというアプローチがあっても良い。</p> <p>以上、期待しています。頑張ってください。</p>	<p>て、各部署の個別計画や組織マネジメント等において進めてまいりますので、引き続き市政運営に関し、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>※1…総務省 住民基本台帳人口移動報告 (日本人対象)</p>	
11	—	<p>まず、内容に関するものではないのですが、計画案とはなっていないので今回の意見公募後に確定するものなのであればイメージ写真は載っていた方が良くと思います。</p> <p>取手市の未来のために取手駅西口開発と桑原開発は必須、という印象を受けます。</p> <p>近隣に守谷市や柏市などある中で、そこに並ぶように都市開発を進めていくことには疑問があります。</p> <p>都会を目指すのではなくて、取手にある魅力をもっと磨いて広めていくことの方が必要なのではないかと感じています。</p>	<p>写真素材につきましては、あくまでも計画内容を補足する資料であることから、計画策定が終了後に印刷製本段階で検討させていただきます。</p> <p>ご意見としていただいた取手駅前や桑原地区の大規模開発につきましては、本計画策定にあたり開催したワークショップや市民アンケート等を通じても、期待を寄せる声が多くありました。まちの魅力や活力を高め、市が持続的に発展していくためには必要な事業であると捉え、重点施策でも設定しているところ です。</p> <p>また取手市では、シティプロモーションとして「ほどよく絶妙とりで」をキャッチコピーとして掲げており、都会的な雰囲気と自然豊かな田舎の雰囲気が同居し、暮らすにも、働くにも、学ぶにも、遊ぶにもちょうどよい、といったイメージを発信しています。ご意見にございます「取手の魅力」について、多くの方に知ってもらえるよう、今後</p>	C

			も様々な手法で発信してまいります。	
1 2	—	<p>まちづくりや政策の番号は優先順位でしょうか。</p> <p>子どもは未来の宝と言いますが、順位が低いのではないかと思います。子どもがいなければ未来はありません。</p> <p>保育士の確保も難しいと聞きますし、給食費に関する問題も長く取り上げられていると思います。取手市には子育てに関して特記するような支援もないように思います。</p> <p>新しくなにかを創造することに力を入れるのではなく、今取手市に住んでいる・生活している市民が実感を得られるようなまちづくりをして欲しいです。</p>	<p>本計画の政策体系における最上位の項目となる「政策（目指すまちの未来）」については、基本構想 6つのまちづくり基本方針、「市長政策方針」、「取手市を取り巻く環境変化」の3つの要素から、今後4年間で重点的に取り組む枠組みを導きだし、6つ設定しております。</p> <p>この6つの政策（目指すまちの未来）の関係ですが、計画本編に記載のとおり、「取手の魅力を高め、取手を選んでくれた方のライフサイクルに寄り添い、幸せが継続する地域社会を創る」というコンセプトのもと、それぞれが関わり合い、循環しながらより良い取手市を目指すものとして設定しており、政策の番号がイコール優先度ではございません。体系でお示しする政策、重点施策、重点事業はいずれも取手市の行政運営において重要で、力を入れて推進していくこととなり、子育てに関しても政策3「未来をつくる世代を育むまちづくり」以下で記載がございますことから、同様に注力していくこととなります。</p>	B
1 3	—	<p>このまちづくり計画の意見公募ももっともっとアナウンスして良いのではないかと感じました。公民館を利用せず、市のホームページも普段は開かないような方には一切目に触れません。市民として関心を寄せる必要があることは重々理解していますが、行政としても働きかけをお願いしたいです。</p> <p>最後に、いつも市のためにご尽力くださりありがとうございます。乱文失礼しました。</p>	<p>市民意見公募につきましては、各公民館、図書館、駅前窓口、藤代総合窓口、各支所に配置しております。また市のホームページでも公開しているほか、11月1日広報でもその実施をお伝えし、メールマガジンでも発信しているところです。</p> <p>ご意見にございます通り、市としましても、積極的に市政に関わってこなかった方がどのように考え、何を望んでいるかを把握することは、施策の方向性を</p>	C

(書式6)

			決める上で重要であると考えます。今後もそういった、いわゆるサイレントマジョリティの意見や考え方を取り入れる方策について検討してまいります。	
--	--	--	---	--

※意見公募は政策等の賛否を問うものではありません。有用な意見を政策等に反映させるため、意見の内容に着目し、これを考慮した市（実施機関）の考え方を掲載しています